主要事業　３

**府立学校働き方改革推進事業費　《新規》**

**【事業目的】**

教員の長時間勤務を解消し、教員一人ひとりの心身の健康の保持増進と子どもたちに向き合う時間や自己研鑽のための時間を確保することにより、学校教育の質の維持向上を図る。

**【当初予算額】　　17,888千円**

**【事業内容】**

≪府立学校における年間時間外在校等時間の平均≫

|  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- |
| 平均時間(時間/人) | 全校種 | 全日制 | 定時・通信制 | 支援学校 |
| 令和３年度 | 337.9 | 410.7 | 158.2 | 248.0 |
| 令和４年度 | 337.1 | 416.0 | 162.5 | 230.5 |
| 令和5年度 | 308.1 | **383.8** | 155.0 | 208.8 |

※時間外在校等時間の上限を定めた規則：年間の上限時間は360時間（特別の事情がある場合は720時間）

≪全日制課程の年間時間外在校等時間360時間超・720時間超の割合≫

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 年間時間外在校等時間 | 360時間超の割合 | 720時間超の割合 |
| 令和５年度 | **46.4%** | **12.5％** |

ICTを活用した校務運営の効率化など全校一律の取組により、教員の長時間勤務は縮減傾向。

しかしながら、全日制課程の年間時間外在校等時間の平均は、依然として規則で定めた上限を超過しているなどの課題がある。これまでの全校一律の取組に加えて、本事業で教員が主体となり個別最適な取組ができるよう、専門的知見を有するコンサルタントを府立学校（15校程度を想定）に派遣し、伴走型で支援することで、効果的に働き方改革を進める。

**■伴走型支援**

**取組の主体**

‣各校の課題に沿った個別最適な取組を企画・実施。自らの力でより良い学校に変える。

‣改善の仕組みを確立し、コンサルタントが離れた後も自律・自走する組織を実現。

**実施校**



**実施校**



連携

伴走

**学校の取組の支援者**

‣契約等の煩雑な手続きを一括で実施。

‣学校が取組に注力できるよう支援。

**教育庁**



**学校・教員の対等なパートナー**

‣全体研修、訪問支援、相談対応。

‣学校の取組の価値づけ、後押し。

**コンサルタント**



連携